

さとひがし

☆自ら学び、心豊かで

たくましい子どもの育成

「み」 自ら学ぶ子

「や」 やさしく思いやる子

「げ」 元気な子



大津市立仰木の里東小学校 学校だより 11月号

令和4年11月2日



運動会の応援ありがとうございました

先日、天気にも恵まれ、第27回運動会を開催することができました。「仲間との絆を信じて、かがやけ里東！」という児童会のテーマどおりの学年も友だちと力を合わせて演技したり競技したりするなど大変充実した一日となりました。保護者の皆様、地域の皆様、温かい声援を最後まで本当にありがとうございました。

1年生は初めての運動会。ときどきわくわくしながらも一生懸命走ったり、跳んだり、踊ったりできました。全校の応援パフォーマンスでは、たった1回の練習でしたが、しっかりと覚え、上手に披露できました。初めて走る50m走では、緊張感があったことと思いますが、どの子も最後まで走り抜くことができました。最後の種目「にんにん玉入れ」では、忍者に変身してダンスを披露したあと、玉入れに挑戦。どの色も練習の成果を発揮し、たくさんの玉を入れることができました。

2年生は、昨年より心も身体もパワーアップ。この1年ですっかりたくましくなりました。50m走では、どの子もゴールに向かってまっすぐに駆け抜けることができました。「ミックスナッツ〜とっておきのひとかけら、みんなであつめて∞（無限大）」では、10月に入ってからも熱心に練習を続けてきました。どの教室でも、休み時間にビデオを見ながら踊っている場面に何度も出会いました。練習の成果を思う存分発揮し、はじける笑顔で、元気いっぱい踊ることができました。

3年生は、初めて80m走に挑戦しました。昨年度よりも遠くなったゴールめがけて、どの子も力いっぱい走り抜きました。真剣な表情が印象的でした。団体競技は、「台風の目」。長い棒を3人で持って走りました。見ている以上に難しい競技で、練習ではどのクラスも大変苦戦している様子でしたが、フラフープを上手に通しているグループ、コーンをできるだけ速く回れるよう工夫しているグループなど、繰り返し練習した成果が十分に出ていました。3年生とは思えないスピード感でした。

4年生は、身体もずいぶん大きくなり、力強く80mを走ることができました。一人ひとりが自分の力をしっかりと出し切ることができたのが素晴らしいと思います。そして、団体演技の「残響“燦華”」。子どもたちは、旗を手にしたときから、目が輝いていました。旗を振ると気持ちよく音が響き、練習にも力が入っていました。子どもたちが入場してきたときは、旗がきれいに風にはためき、観客席からも歓声が上がりました。子どもたちが心をつなげて旗を振ると、運動場いっぱいに残響が響き渡りました。演技を終えた後の子どもたちの達成感のあふれた笑顔が印象的でした。

高学年へと成長した5年生は、走る距離も100mまで伸びました。どの子も長い距離を、全力で走りることができました。団体競技は、運動会の定番「綱引き（ONE TEAM ～力・心・綱げて～）」。各学級が心をつなげて、力強く綱を引く様子は迫力満点でした。一人ひとりの真剣な表情、一生懸命な姿が大変すがすがしく、応援にも力が入りました。また、時間をかけ、工夫して作った学級旗は大変立派でした。それぞれのデザインから、各学級、そして児童一人ひとりの「運動会にかける思い」が伝わってきました。

6年生にとっては、小学校生活最後の運動会。開会式に始まり、その後の応援パフォーマンス、一日を通しての係活動。どの場面でも、生き生きと活躍する姿が見られました。100m走にも力が入っていました。どの子も、ゴールだけを目指して、最後まで力強く走り抜きました。そして圧巻だったのは「正調ソーラン節」。「厳しい寒さ、激しい荒波の中、ニシンを獲る勇ましい漁師の姿」を力一杯表現しました。大漁を願った精一杯の声にも感動しましたが、失敗を恐れず、真剣な表情で踊る一人ひとりの姿に心を奪われました。1～5年生の後輩たちも、「あこがれの目」で、6年生の演技を静かに見ていました。1～5年生の後輩たちに、素晴らしい財産を残してくれました。よき伝統が引き継がれる素晴らしい瞬間に立ち会うことができ、とても幸せな気持ちになりました。